

2019年					2020年									
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月			
		△ 合格発表(8日)					△ 受験案内		△ 受付締切		△ 本試験			
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     メイン学習 (スクール・独学)                 </div>					<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     労基 安衛 労災 雇用 徴収                 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     健保 国年 厚年 社一 労一                 </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     直前対策(統計・白書、法改正、横断整理、答案練習、模擬試験他)                 </div>				
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     HIGH HOPES 配信予定                 </div>					<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     I 2019年度本試験問題検証                 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     II &lt;忘却防止&gt;科目別2択重要論点演習                 </div>					<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     III &lt;WARASUGA&gt;2択重要論点シャッフルテスト                 </div>		

● 配信コンテンツの内容

I 2019年度本試験問題検証 (全49回)	II <忘却防止>科目別2択重要論点演習 (全193回)	III <WARASUGA>2択重要論点シャッフルテスト (全81回)
・ガイダンス(1回) ・択一式試験(42回)	・ガイダンス(1回) ・メンテナンステスト(10回)	・ガイダンス(1回) ・社会保険科目集中テスト(20回)
・選択式試験(5回) ・総評(1回)	・解説講義(172回) ・演習教材配布(10回)	・全科目シャッフルテスト(60回)
<概要> 通常、スクールで開講される過去問解説講座や自学自習で行う過去問学習では、問題を肢別にバラしたものの検討が中心になります。そして、学習の際には「何がわかっていればその肢に正答することができるか?」が重視されます。つまり、こうした学習においては、過去に出題された問題に100%正答できるようになるための知識を身につけることが目的になるのです。しかし、近年の長文問題傾向の著しい本試験で合格点を取るためには、このような後追い学習のみでは十分ではありません。過去に出題された論点についての正誤を即座に判断できることは当然として、それに加えての「速読即解力」や「未知の事柄に対して既知の事項を当てはめて類推する力」、「なんとなく正しい(誤っている)と感じる選択肢・語群に対して正誤の妥当性を判断する力」、場合によっては「捨て問として問題文を一読のみで処理する時間短縮」などの【現場対応】の力がこれまで以上に重要になってきています。この配信では2019年の本試験で出題された問題を、肢別ではなく問題単位で考察することにより、単なる知識解説に留まらない【現場対応】の視点から各問題の検証を行います。また、2019年度受験対策として刊行されていたテキストや過去問による知識で合格点を取ることが可能であったのか? 何点を取ることができたのか? を考察し、2020年度の試験合格に必要な受験対策の方法論を考えていきます。選択式試験、択一式試験共に毎回2問づつの問題検証(約15分の動画解説)を、最新年度の過去問のみを用いて全問にわたり行う HIGH HOPES 独自の過去問分析用配信特典です。	<概要> 合格マニュアルの学習法理論に基づいた自己学習として行う、既に履修を終えた科目の知識の忘却防止を目的とした重要論点復習用特典です。各科目の復習項目を過去10数年の間に複数回出題された論点を中心に絞り込み、これを紛らわしい2択の問題演習形式で学習することによって既習知識の記憶の定着度を高めます。ここで使用する演習教材『2択重要論点チェック』は、自己学習における短時間・反復学習を可能とするために問題文と選択肢から余分な語句を取り除き、全ての問題を論点のみを問うシンプルな構成にしています。各回の動画(約15分)はこの『2択重要論点チェック』の問題を10問ずつ解説する形式で進行し、会員の皆様は事前に問題を解いた上で解説動画を視聴することとなります。また、各科目の最終回では、それまでに学習した内容の到達度を図るための「メンテナンステスト」を実施し、弱点分野の把握とさらなる記憶の強化を図ります。通常、スクール等では9~10月頃から約6~7か月間をかけて10科目を順に学ぶ形でカリキュラムが組まれており、既習科目の再学習の機会が4月頃からの直前対策講座の開講を待つこととなります。しかし、多くの場合はこの間に学んだ内容の忘却が進み、4月以降の復習での知識回復が間に合わないまま本試験に臨むこととなっています。この特典では一般的なスクールの学習カリキュラムに遅れる形で配信スケジュールが組まれていますので、これに従って毎日30分程度の学習を進めていくだけで、多くの受験生がその進め方に苦慮している【知識の完全な忘却を食い止めるための既習科目の復習】が可能になります。	<概要> 多くの会員の方からご好評をいただいた試験直前期の全科目同時学習ツールを、今年度は配信回数と内容をパワーアップしてお届けします。直前期の学習では、全科目を満遍なく・時間間隔を置かず・重要論点をスピーディーに・学習することによって知識の忘却を防止し、【記憶のコア】を脳内に築き上げることが重要になります。この特典では、全科目の『2択重要論点チェック』の中から毎回2問づつをランダムにピックアップしてこれを計20問のテストにし、約15分のポイント解説動画と共に配信します。また、1科目あたりの出題数が多く重要論点の数の多い社会保険4科目については、別途、これらの科目の問題のみで構成された計10問の集中テストを実施します。このシャッフルテストに取り組むことによって、会員の皆様は知らず知らずのうちに全科目の高速回転学習によるQ&A形式での知識総整理を進めていくことができます。「WARASUGA」とは、「薫にもすがる思いで」という超直前期の時期にある受験生の心境を表現したものです。この時期の1番の悩みは、全科目の学習を一応は終えたものの、その分量の膨大さから学習した内容の多くが記憶に残っていないこと。そして、そのような状況にあっても試験までの残り時間が少ないことから、何から手を付けたら良いのかがわからなくなることにあります。しかし、『科目別2択重要論点演習』で既に行った1回転の復習を、今度は全科目の同時進行に広げて進めていくことにより、試験日まで残る知識を無理なく吸収していくことができます。これこそが、まさに合格マニュアルの実践です。

※ メンバース会員特典の各コンテンツの配信時期、配信回数等につきましては、予告なく変更する場合がございます。ご了承ください。

※ HIGH HOPES は月額会員制のメンバーズクラブです。ご入会前に配信されたコンテンツのお受け取りを希望される場合には別途料金が発生します。ご希望の方は、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

※ 上記の他に、週に1度、メンバーズ会員限定のメールマガジンを配信いたします。(各週における日毎の具体的な配信内容については、こちらでお知らせいたします。)